宇都宮で産学連携学会

大学や企業 取り組み

大学や企業の取り組みを紹介するなどした産学連携学会＝16日午後、宇都宮市

産学連携学会第15回大会とちぎ大会が15、16の両日、宇都宮市の県総合文化センターで開かれ、大学や企業の関係者ら約480人が参加し、産学連携の取り組みなどについて報告したり意見を交わしたりした。

同学会が毎年開いており本県開催は初。宇都宮大などが共催し、石田朋靖同大学長が大会長を務めた。

16日は日韓比較のワークショップなどが行われ、「若手人材育成への地域企業の挑戦～獲得、定着、成長～」がテーマの会場では県内3企業が、技術向上目的にとどまらない人材育成策を報告した。

施設園芸資材メーカーの誠和（下野市）は若手を先輩メンター（助言者）がフォローする体制、めっき業の桑名商事（真岡市）は資格取得奨励などを挙げた。

行政事務支援のアクリーグ（小山市）の担当者は、インターネットを使った情報共有やボランティアなど各種委員会活動を紹介。これらの取り組みが「業務に求められる、新しいことに挑戦しようという気持ちを持つことにつながり、定着がなされる」と話した。

15日は、沢田道隆花王社長の特別講演や、本県の強

めぶきFGビジネスアワード

初の栄誉 県内外28社

第1回めぶきビジネスアワードの受賞者ら＝16日午前、水戸市

めぶきフィナンシャルグループ（FG）と傘下の足利銀行（松下正直頭取）、常陽銀行（寺門一義頭取）は16日、「第1回めぶきビジネスアワード」受賞プランの表彰式を水戸市内で行った。

本県や茨城県などの28社が受賞し、最優秀賞には認知症の脳疾患を血液検査で早期発見する画期的な事業を手掛けるMCBI（茨城県つくば市）が選ばれた。賞金300万円が贈られる。このほか優秀賞3社、特別賞5社、奨励賞19社。

めぶきFG社長の寺門頭取は「プランの事業化や販路拡大、資金調達などを両行ができる限りお手伝いする。皆さまの事業プランが大きく花開き、地域活性化の新しいけん引役となってほしい」とあいさつした。

めぶき特別賞に輝いたグルメコンガーズ（宇都宮市）は県産果物や野菜で使い切りのボール状ジャムを開発。折本明希子社長は「受賞は励みになる。年内商品化を目指しており（両行に）販路拡大で協力してもらえたら」と話した。

同アワードはめぶきFG発足記念。応募数は646件に上り、各行が単独で実施してきた合算実績を約3割上回った。（岡田優子）

その他の上位入賞企業は次の通り。

優秀賞　sid（埼玉県川口市）染めQテクノロジィ（同幸手市）フクル（群馬県桐生市）▽地域創生賞　吉田運送（茨城県坂東市）▽ものづくり特別賞　ロイアルエンジニアリング（千葉県我孫子市）▽ヘルスケア賞　K&A COMPANY（小山市）▽日立製作所賞　シンテック（福島県いわき市）

地域創生ファンド 総額40億円に増額

めぶきFGの足利銀行と常陽銀行は16日、めぶきFG発足を記念し昨年11月に設立した「めぶき地域創生ファンド」の総額をこれまでの20億円から40億円に増やしたと発表した。両行が10億円ずつ追加出資した。

同ファンドは栃木、茨城の主要産業である食・農・観光分野の事業を支援するのが目的。すでに4社へ計12億円を投資した。めぶきビジネスアワードの受賞企業を含め、新たな事業の創出を進めようと、資金面での支援体制を強化した。

また大学発のベンチャー企業を育てるため、新たな枠組みも設ける。大学の基礎研究や実験段階のものを試作品開発から事業化へつなげるため、現在、宇都宮大や筑波大などと連携して支援の枠組みを検討している。めぶきFG社長の寺門一義常陽銀頭取は「研究段階、実験段階を乗り越えるための枠組みをできるだけ早く作ることができれば」と話した。

栃木銀行グループ
宇都宮証券
50年・100年…あなたと一緒に育てたい
本店・宇都宮東・今市・鹿沼・真岡・西那須野
☎028-614-5111(代)

（カッコ内は前 代表取締役会 代表取締役社 ▽常務取締役総 報・関係会社担 局長（取締役主 ジタル・制作技 一彦▽常務取締 ・大阪・地域貢 局長（取締役営 阪担当 営業局 ▽取締役経理・ 刷担当 経営計 達郎▽取締役主 ジタル・制作技 待遇編集局長） 締役販売・事業 業局長（役員待 長）関根文夫▽ 増田耕一（毎 役経営企画・制 ・出版担当）▽ 幸司（毎日新聞 常務理事）▽非 吉沢文夫（とち 取締役社長） 【退任】黒内 締役管理統括 広報・関係会社 一（専務取締役 域貢献担当）▽ 締役販売・事業 芳明（非常勤取 豊（監査役） 【関連人事】 支社長 岡本紳 編集局長（経営 田和宏